

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	進行再発子宮体癌初回治療に対するメドロキシプロゲステロンの有効性の後方視的検討
受付番号	4397
研究機関長	鈴木敬一郎（兵庫医科大学学長）
研究責任者氏名	鏑本 浩志
研究期間	2023年4月29日 から 2023年12月31日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	疾患名：無症候性の進行再発子宮体癌 診療科名等：産科婦人科学講座 受診日：2013年1月1日 から 2022年12月31日
研究に用いる 試料・情報の種類	試料等 ■カルテ情報 アンケート その他（ ）
研究目的・意義	（目的・意義） 目的は再発子宮体癌における TC 療法に代わる患者さんに合わせた初回治療の模索になります。再発子宮体癌における薬物療法による初回治療は TC 療法あるいは AP 療法です。黄体ホルモン療法は推奨レベルが弱く、奏効率は低くなりますが、有害事象が起こる率は低く、一部で長期奏効する症例が存在します。症例を限定すれば、現行のガイドラインに則った治療法より優れる治療となる可能性があります。
研究の方法	（研究の方法・手順） 2013年1月1日～2022年12月31日までに、メドロキシプロゲステロンによる治療を受けた再発子宮体癌患者さんをカルテから抽出して、解析します。観察項目：年齢、進行期、治療経過について、カルテから抽出します。（統計解析の方法）治療情報、有効性・安全性について、統計ソフト（エクセル統計（株式会社 社会情報サービス、東京））を用いて解析します。 （主要評価項目・副次的評価項目及び評価方法）主評価：病勢コントロール率 副次的評価項目：ホルモン療法の内容と有害事象、奏効率、無増悪生存期間（progression free survival）、後治療の内容、全生存期間（overall

	survival)など
個人情報の 取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する 連絡先	診療科名等：産科婦人科 担当者氏名：鐺本 浩志 連絡先： [電話]（平日 10～15 時）0798-45-6210